

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	224	2年	後期	看護学科	必修	母性看護方法論Ⅰ Maternity Nursing MethodsⅠ	15	1
担当教員								
中越 利佳	瀧本 千紗							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
母性看護を実践するために必要な周産期の基礎的知識について理解できる。								
到達目標（授業目標）								
1. 妊産褥婦、新生児の身体的、心理的、社会的特徴を理解することができる。								
2. 母性看護を実践するために必要な基礎的な知識を修得することができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	妊娠期の看護Ⅰ：オリエンテーション、妊娠の生理と妊婦のフィジカルアセスメント [中越]							
2回	妊娠期の看護Ⅱ：妊婦の健康と家族を支えるための看護の実際 [瀧本]							
3回	分娩期の看護Ⅰ：分娩の生理、産婦の身体的・心理的特徴 [中越]							
4回	分娩期の看護Ⅱ：分娩期の看護の実際 [瀧本]							

5回	新生児期の看護1：新生児の生理、新生児のフィジカルアセスメント [中越]						
6回	新生児期の看護2：新生児期の看護の実際 [中越]						
7回	産褥期の看護1：褥婦の生理、褥婦のフィジカルアセスメント [中越]						
8回	産褥期の看護2：産褥期の看護の実際 [中越]						
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
①小テスト (20%) ②筆記試験 (80%)。トータル60点以上を合格とする。							
教科書	1. 森恵美・高橋真理・工藤美子「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学②」(医学書院) 2. 横尾京子・中込さと子「ナースング・グラフィカ 母性看護学③母性看護技術」(メディカ出版) 3. 太田操「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」(医歯薬出版)						
参考図書等	井上裕美・竹内正人「病気がみえる10 産科」(メディックメディア)						
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)							
事前学習動画を学習して講義に臨むこと。事前学習の内容は講義では扱わない。 講義の進行が速いため、予習復習を行い、知識の定着に努めること。							
関連科目							
前科目	107 性と健康	158 臨床病態学Ⅲ	223 母性看護対象論				
後科目	225 母性看護方法論Ⅱ	226 母性看護学実習					
実務家教員							
助産師 (医療機関)	中越 利佳	瀧本 千紗					
備考	第4回と第8回終了時に小テストを行う。						